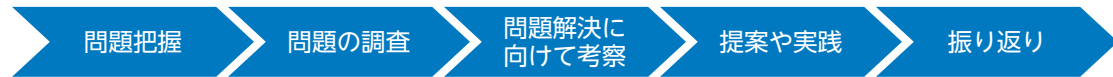


《コラム》 実践紹介「生徒が身近な社会問題を解決し、財政及び租税の役割に気付く」

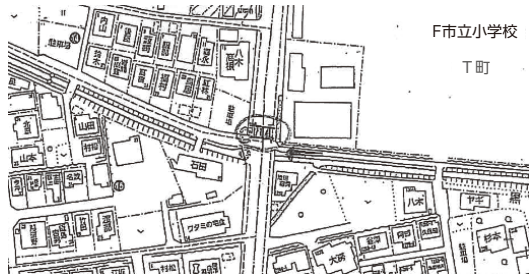
F市のある中学校では、生徒が地域社会に参画するために必要な力を身に付けたり、地域で協力して生活することの大切さを学んだりすることを目的とし、社会科や総合的な学習の時間において、生徒が自分で見つけた身近な社会問題を解決する取組が市や自治会の協力の下、行われています。

○学習の流れ（一例）



○生徒の提案（自治会長へのお願いの一部）

以下の場所について補修の検討、申請をお願いします。



- 1 小学校側から横断歩道を渡るときに渋滞している場合、止まっている車で左から来る車が見えず、横断歩道の中央あたりまで出て見なければならず、とても危険になっています。
- 2 横断歩道を渡ろうとする時、スピードを落とさない車が来たり、止まっていた車が急に動き出したりすることがあります。

もし可能でしたら、この場所にカーブミラーや信号機をつけて、私たちが安心して登下校できるよう、ご検討、市役所への申請をしていただけないでしょうか。

○授業の様子と設置されたカーブミラーの写真



○自治会長の感想（抜粋）

今回の生徒さんの提案は、交通事故を減らし、私たちの安心・安全を守るための貴重な提案でした。自分で調べ、まとめた報告書は地図や危険性が書かれており大変分かりやすかったです。そして、申請してくれたことを大変嬉しく思います。今後も、このような活動を通して地域を愛する住民が増えてくれることを期待します。

○生徒の感想（抜粋）

自分の提案が通り、本当にカーブミラーが設置されたことに正直驚くとともに、自分が地域をよりよくすることができて嬉しかったです。また、今回、税金によって私たちの暮らしがよりよくなることを知ったので、税金のよりよい使われ方にも注目してこれから生活していきたいです。